

児童数・スタッフ (令和8年4月7日現在)

学級・地区別児童数

		男	女	計
1年	1組	8	10	18
	2組	8	9	17
2年	1組	6	12	18
	2組	7	13	20
3年		19	12	31
4年		13	16	29
5年		10	22	32
6年		8	19	27
あすなろ1		1	1	2
あすなろ2		2	3	5
合計		82	117	199

校医

科	氏名
内科	
外科	
眼科	
耳鼻科	
婦人科	
歯科	
薬剤師	

P T A 本部役員

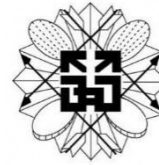
役職	氏名 (Tは職員)
会長	
副会長	
書記	
会計	
監査	
顧問	

教職員

職名	氏名	担任等	主な校務分掌
1 校長		—	学校運営全般
2 教頭		—	校務全般 PTA 地域・大学連携
3 教諭		1年1組	国語 図書館教育 読み聞かせ 幼小連携
4 教諭		1年2組	図工 清掃 キャリア教育 補導 PTA 会計
5 教諭		2年1組	算数 環境教育 緑の少年団 わくわく班
6 教諭		2年2組	生活 人権教育 児童会会計 人権教育推進教諭
7 教諭		3年1組	道徳 学校安全 登下校 道徳推進教諭
8 教諭		4年1組	外国語 保健主事 福祉教育 JRC
9 教諭		5年1組	体育 特活 プール 生徒指導 登校検 クラブ
10 教諭		6年1組	社会 家庭 学力向上 研修 児童会
11 教諭		あすなろ1	総合 情報教育 ICT 特別支援 委員
12 教諭		あすなろ2	音楽 特別支援 教育相談・SC
13 教諭		教務	理科 食育 給食 充実指針推進
14 養護教諭		養護	学校保健 拾得物 衛生推進者
15 事務主任		事務	学校事務 教職員副
16 教科指導講師		—	図工 書写指導
17 学習サポーター		—	学習支援
18 特学級級助員		—	特別支援
19 図書館従事職員		—	図書館管理 読書指導
20 スクールカウンセラー		—	カウンセリング 教育相談
21 ALT		—	英語教育
22 MES		—	英語教育
23 用務技士		—	用務全般 環境整備 施設管理
24 用務技士		—	用務全般 環境整備 施設管理

週標準校時

内容	月曜日	火～金曜日
朝の会・朝活動	8:15～ 8:30	8:15～ 8:40
第1校時	8:30～ 9:15	8:45～ 9:30
第2校時	9:20～10:05	9:35～10:20
中休み	10:05～10:20	10:20～10:35
第3校時	10:25～11:10	10:40～11:25
第4校時	11:15～12:00	11:30～12:15
給食	12:00～12:45	12:15～13:00
清掃		13:00～13:20
休憩	12:45～13:00	13:20～13:40
第5校時	13:05～13:50	13:45～14:30
第6校時	13:55～14:40	14:35～15:20
帰りの会	14:40～14:55	15:20～15:35
下校時刻	15:00	15:00/15:40



令和8年度

前橋市立筑井小学校要覧

住所 〒379-2115 前橋市筑井町1160番地
 電話 027-266-0068
 F A X 027-266-0662
 Email utsuboi.es@city.maebashi.ed.jp
 U R L https://sites.google.com/school.maebashi.ed.jp/utsuboi-es



地名・校名「うつばい」の諸説

- ① 「うつば」は矢を入れる道具に由来し、「うつば」の形をした井戸があった。
- ② 地域にウツボグサが茂っていた。
- ③ 「宇津保井(うつばい)」が元の表記。
- ④ 「うつば」は中が空であること、「井」は井戸・自然湧出の泉。うつばのい→うつばい→うつばい と変化した。

※「筑」は国字で、全国で唯一 地名で使用されている。

筑井小学校 校歌

作詞 大手 弘一
作曲 中村千鶴子

一 赤城の山を背に負うて
朝日に映えた 学舎が
今日もわたしを待っている
楽しく学ぼう さあ友よ
われらの筑井小学校

二 桃木川の川波は
永い歴史を 語りつつ
強く生きよと歌っている
元気に遊ぼう さあ友よ
われらの筑井小学校

三 近戸の森に囲まれて
体を鍛え たくましく
理想をみざして 励んでる
明るく進もう さあ友よ
われらの筑井小学校

昭和四十七年制定

沿革の概要

明 7.2 安養院に筑井小学校を創設する。	47.3 体育館が竣工する。	11.9 飼育小屋を新設する。
17.12 南勢多郡第八小学校と改称、駒形・上大島・下増田に分校をおく。	48.11 小学校教科別(体育)研究発表会を行う。	13.9 パソコン室が設置される。
19.3 南勢多郡第十七小学校と改称する。	49.2 開校百年記念事業を行う。校旗を制定する。	13.11 小学校教科別(道徳)研究発表会を行う。
20.3 筑井尋常小学校と改称する。	51.11 小学校教科別(特活)研究発表会を行う。	14.8 パソコン室エアコン工事を行う。
23.4 市町村制施行、木瀬尋常小学校となる。	54.3 校庭拡張工事が完了する。	15.10 開校百三十年記念式典を行う。
25.10 小学校令実施、筑井尋常小学校と改称する。	55.11 鉄筋三階建、普通教室2、特別教室6の北校舎が改築落成する。	16.7 校舎壁面、北通路付近の修理を行う。
31.4 高等科を併設、筑井尋常高等小学校となる。	55.11 南校舎にコンテナ室、職員玄関を増築する。	16.8 校庭全面整備を行う。
34.2 校舎を新築する。	56.11 小学校教科別(家庭科)研究発表会を行う。	17.4 図書室エアコン工事を行う。
40.4 小学校令改正、義務教育6年となる。	57.2 親子20分読書実践発表会を行う。	17.5 事務用コンピュータを更新する。
43.8 二階建校舎を増築する。	58.1 体育館放送設備を新設する。	17.6 敬老集会始まる。
11.10 創立五十周年記念式典を行う。	59.2 開校百年記念式典を行う。	17.8 校内LAN工事を行う。
12.3 校内に電灯がつく。	59.4 県教委より59・60年度、給食実践推進校の指定を受ける。	17.9 パソコン室コンピュータを更新する。
昭 7.12 二階建て10教室の校舎を新築する。	61.10 学校給食優良校として文部大臣表彰を受ける。	18.11 小学校教科別(特活)研究発表会を行う。
16.4 勢多郡木瀬村筑井国民学校と改称する。	63.4 県教委より、63年度～平成2年度体力づくり実践推進校の指定を受ける。	19.5 前橋国際大学との地域連携事業を開始する。
22.4 勢多郡木瀬村立筑井小学校と改称する。	63.11 放送機器(AV方式)を設置する。	19.11 群馬県健康推進学校優良賞を受賞する。
22.9 駒形小学校を合併し、木瀬村立東小学校となる。	2.11 県・市教委指定「体力づくり実践推進校」の発表を行う。	20.11 小学校教科別(社会)研究発表会を行う。
27.4 駒形分教場をおく。	3.8 南校舎の全面改築が完成する。	22.3 西校門扉を改修する。
29.5 駒形分教場が独立し、木瀬村立南小学校と称す。	4.2 校章・校名看板を屋上に設置する。	22.8 児童用パソコン新機種入れ替えをする。
31.4 県教委指定の体育研究の発表会を行う。	4.3 駐車場を旧公民館跡地に増設する。	23.7 普通教室にエアコンを設置する。
38.11 町村合併。城南村立筑井小学校となる。	5.3 交通安全無事故表彰を受ける。	24.8 校舎外壁の塗り替え工事を行う。
40.4 県教委指定の科学教育の研究発表会を行う。	5.11 小学校教科別(図工)研究発表会を行う。	25.11 開校140周年記念式典
42.3 勢多郡指定の体育研究の発表会を行う。	6.2 開校百二十年記念式典を行う。	小学校教科別発表会(生活)を行う。
鉄筋二階建て12教室の南校舎が落成する。	7.3 交通安全無事故表彰を受ける。	25.11 体育館の耐震補強工事を行う。
県指定の学校給食の研究発表会を行う。	7.4 特学「あすなろ」を開設する。	27.8 校長室の床面張り替えを行う。
城南村が前橋市に合併し、前橋市立筑井小学校と改称する。	8.5 新プールが竣工する。	28.3 トイレの増改築・1階耐震工事を行う。
44.7 プールが完成する。	9.8 南校舎耐震工事が完了する。	29.3 西門門柱改築工事を行う。
47.1 校歌を制定する。	9.11 小学校教科別(音楽)研究発表会を行う。	29.11 小学校教科別発表会(図工)を行う。
	10.4 緑の少年団に入団する。	30.1 全国交通安全協会優良学校表彰を受賞する。
	11.3 体育小屋を新設する。	30.8 体育館天井改修工事を行う。
		31.3 ブロック舗装改修工事を行う。
		令 2.3 北校舎1階床の張替工事を行う。
		6.2 開校150周年記念式典を行う。

令和8年度 学校教育目標

思いやりと豊かな心を持ち 自ら学び たくましく生きる児童の育成

【 校訓 やさしく かしこく たくましく 】

経営の基盤

- ① 「県学校教育の指針」「前橋市教育振興基本計画」「まえばし学校教育充実指針」を基盤とした教育活動
- ② 「主体的・対話的で深い学び」を創造するための学級集団の育成
- ③ 組織を生かした学習指導・生活指導等の展開
- ④ 今日的教育課題に向けて教職員一人一人の持ち味を生かした学校体制づくり
- ⑤ 学校・家庭・地域が一体となった学校づくり

やさしく

思いやりがあり、
心豊かな子

- 友だちにやさしくできる。
- 感謝の気持ちを言葉や態度で表す。
- いじめをしない、認めない、許さない。
- 多様な価値を認め、共に生きる。



かしこく

よく考え、進んで学ぶ子

- 目標に向かい、主体的に学ぶ。
- 人の話を最後までしっかり聴く。
- 自分の考えを分かりやすく伝える。
- いろいろな考えを出し合い、学び合う。



たくましく

心身ともに健康で、
ねばり強い子

- 「早寝、早起き、朝ごはん」に取り組む。
- 何事も最後までやりとげる。
- 困難を乗り越える。
- 身の回りの危険に気づき、回避できる。



思いやりと豊かな心を育む学校

- ※ 児童が社会的スキルを身に付け互いの考えを理解し、認め合うことができる学校
- ※ 児童が、心理的安全性を高め、保てる学校
- 自他の大切さを認め合える人権教育の推進
 - ・人権週間、人権集会、人権標語の取組の充実
 - ・特別活動を中心とした互いを大切に活動の充実
- いじめ、不登校「ゼロ」の学校づくり
 - ・早期発見（月例アンケートの充実）、保護者との連携
 - ・通常級における支援を要する児童への指導等、特別支援教育の充実
 - ・発達支持的生徒指導の推進
- 生き方の自覚を深める道徳教育の充実
 - ・「考え、議論する道徳」を意識した道徳の授業改善
 - ・道徳教育の全体計画の共通理解
- 温かな人間関係を築く活動の充実
 - ・多様性を認め合うことについての共通理解
 - ・異年齢集団や地域の人々など多様な人と関わる活動の工夫
- 集団の一員としての自覚をもち、規範意識を高める指導の充実
 - ・学級活動や児童会活動などにおける自分たちの集団生活をよりよくするため等の活動の充実
 - ・規範意識を高めるために自己有用感を育てる指導や認め合うなどの場面設定の工夫
- 豊かな心を育む児童の活動の充実
 - ・挨拶と返事、言葉遣い（代表委員会）
 - ・朝読書、読書週間、ビブリオバトル（図書委員会）
 - ・花いっぱい運動（環境委員会）
- 特別活動を通して主体性と協力する心の育成
 - ・児童主体の委員会・集会・縦割り班活動等の充実（児童が主役の学校行事の運営）
- 交流体験学習の充実
 - ・まち探検や米作りなどで地域の方々と交流体験学習の実施
- 美しく整備された環境づくり
 - ・清掃活動の充実による美しい生活環境の保全、環境教育の推進（エコ活動）
 - ・委員会を中心とした花いっぱい運動の推進

目指す教職員像

- 高い専門性を有する教職員
 - ・教材に関する専門的な知識・技能を有し、児童理解に立った分かりやすい学習活動が展開できる。
 - ・児童の気持ちや資質能力を的確にとらえ、そのよさを生かしながら学級経営を進めることができる。
- 豊かな人間性を有する教職員
 - ・児童に対する深い教育的愛情や人権尊重の精神をもち、児童の立場に立って支援できる。
 - ・教育に対する情熱、使命感をもつとともに、温かみがあり、常に児童から学ぼうとする。
- 社会人として優れた識見を有する教職員
 - ・幅広い教養を身に付け、社会人として適切な言動をとることができる。
 - ・職員、保護者、地域の人々と協力し合い、よりよい学校を築こうとする。
 - ・高い倫理観と規範意識をもち、職責を果たすことができる。

自ら学び、新しい発見ができる学校

- ※ 児童が、課題に対する見通しをもって、粘り強く取り組める学校
- ※ 児童が、友だちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる学校
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の推進
 - ・児童が主役の授業づくり
 - ・めあての明確化
 - ・児童が、課題に対する見通しをもって、粘り強く取り組める授業づくり
 - ・友だちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業づくり
 - ・自分の学びを振り返り「できた、分かった、もっと分かってほしい、できるようになりたい。」など次の学びや生活に生かす力を育む授業づくり
 - ・習得型、活用・探究型授業の計画的実施
 - ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- 基礎的な知識・技能の定着
 - ・漢字、計算コンテストを活用した朝学習の充実
 - ・各種学力検査の分析を踏まえた授業改善
- 学びの質を高めるICT活用の推進
 - ・ICTの効果的な活用
- 体験活動を重視した学習の推進
 - ・学校行事を通じた体験活動の充実
 - ・家庭や地域と連携した体制づくり
- コミュニケーションを重視した英語学習
 - ・ALT、MESと担任との連携の充実
- 自ら探究する総合的な学習の時間の充実
 - ・総合的な学習の見直し、改善、充実
 - ・実態を考慮した年間指導計画の見直しと共通理解
 - ・児童が本気で解決したいと思える課題設定の工夫
 - ・探究の成果をまとめ、提案する過程の工夫
- 読書活動の質的向上の推進
 - ・朝の読書、読み聞かせ、家庭学習での読書を推進
 - ・図書室、県立図書館との連携により、読書時間の充実、読書環境の整備

地域に開かれた学校

- 地域の方々の協力・支援を受けて、元気な学校づくり
 - ・保護者の協力と支援 ・地域ボランティア（登下校の見守り隊） ・サポート会議
- コミュニティスクールと協働した学校運営の推進
 - ・地域人材による学校運営方針や課題の共有化
- 前橋国際大学等との連携
 - ・こざくらプラン（学校フィールド学習） 学生が1週間学習支援を行う活動の有効活用
 - ・さくらんぼプラン（小学校教育サポーター） 決まった曜日、時間、クラスで学習支援を行う活動の有効活用

体力・気力・望ましい生活習慣を身に付ける学校

- ※ 児童が仲間と積極的に関わりながら、楽しく、安心して運動に取り組むことを通して、体力の向上を図る学校
- 体力向上を図る取組の推進
 - ・外遊びの推奨など運動に親しむ習慣づくり
 - ・体力テストの分析を生かした授業改善
 - ・ICTを活用した動画撮影や資料提示などで「できた・分かった」を実感できる授業の工夫
 - ・運動会、持久走大会等の体育的行事の充実
- 基本的な生活習慣を身に付け、自分の健康を管理する能力の育成
 - ・望ましい生活習慣の定着に向けた家庭との連携
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん」の推奨及び規則正しい生活習慣をテーマとした学校保健委員会の取組
- 食育の推進
 - ・食に関する実践的・系統的な指導の工夫
 - ・家庭や地域と連携した望ましい食習慣指導の充実

安心・安全な学校

- ※ 児童が、安全で安心して過ごせる学校
- 安全管理・環境衛生管理体制の充実
 - ・生活、交通、災害の3観点を盛り込んだ学校安全計画の見直しと実践
 - ・校内巡視等の日常的な安全確保と定期的な安全点検の実施
 - ・自転車の乗り方教室、交通安全教室の実施
 - ・避難訓練、防犯・防災訓練等の計画的な実施
- 家庭や地域と連携した安全な登下校対策
 - ・集団下校、一斉下校、地域の見守りでの安全確保
 - ・保護者、職員からの目線での通学路点検
 - ・大規模な災害を想定した引き渡し訓練の実施
- 危機管理の徹底
 - ・職員による危機管理マニュアルの共通理解
 - ・危険回避能力を高める学習活動の工夫
 - ・地域の教育力を生かした学習、活動の充実

今年度の重点取組

- ① 一人一人が「チーム筑井」の一員として参画する学校づくりの推進
 - ・学校課題の解決に向けた「チーム筑井」としての指導体制の構築と取組の推進
- ② 開かれた学校づくりの推進
 - ・学校支援や学校生活支援における保護者・地域ボランティアの積極的な活用
 - ・学校公開、授業参観、学校・学級だより、すぐる等による学校の取組に関する積極的な情報提供及び家庭や地域の方々との協働体制づくり
- ③ 個々のニーズに応じた校内体制づくり
 - ・一人一人を大切に特別支援教育の充実
- ④ 教職員の資質・能力の向上
 - ・指導力の向上を目指した校内研修の充実
 - ・家庭科を中心とした授業改善
- ⑤ 授業改善
- ⑥ 体力向上
 - ・組織的計画的な取組
- ⑦ 安全・安心な学校、地域から信頼される学校づくり
 - ・関係諸機関と連携した危機管理体制の充実